

平成23年4月18日
受信環境クリーン中央協議会

電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人5件、団体4件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：岡井 元 財団法人電気通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
としだ まさと 利田 正人	鹿島建設(株) 近隣相談室 専門役	高度成長期の昭和40年代から首都圏においては相次いで高層ビルが建設され、テレビ電波障害が社会問題化され始めた。そうした中で昭和40年代から大手ゼネコン鹿島建設(株)の近隣相談室長としてテレビ電波障害解決のため、精力的に原因者と受信者間の調整にあたり、数多くの高層ビル建設によるテレビ電波障害(約15万世帯)を解決してきた。その熱意により建築主、受信者双方からの厚い信望を得、数々の経験を生かし現在もアナログ放送最後の電波障害対策となる、大崎駅西口地区開発事業(3月末竣工予定)の近隣相談室長として、電波障害対策(1,800世帯)に取り組んでいる。
あんどう きょういち 安藤 京一	日本電設工業(株) 情報通信本部 営業部 担当部長	東日本旅客鉄道(株)から、東北・上越新幹線沿線の地上デジタル放送の電波受信状況調査及び住民との新たな受信補償計画の策定について、業務委託及び技術支援の依頼を受けた日本電設工業(株)の統括指揮者として、①地上デジタル放送の受信状況の調査に関して、端子電圧、等価C/N比等から受信評価できる調査測定システムの確立を支援して、2008年10月までに補償システム補償対象世帯である544組合約11万2千世帯の受信評価データを採取した。②住民との受信補償業務に関して、通信事業者が補償業務を引き受け、地上アナログ放送と地上デジタル放送を同時に提供するサイマル放送の実現に努め、実際に住民説明会にも積極的に参加し、内容の理解を得る努力と住民説明を行う者に対する教育及び指導を行うなど、その功績は大である。
わたなべ ちから 渡辺 力	(株)富士見テレビ 代表取締役会長	NHK入局以後現在までの50有余年にわたり、一貫してテレビ受信環境維持、改善に関する仕事に従事した。NHK技術本部では、テレビ中継局の設置計画、調査、NHK受信技術部では、建造物受信障害予測調査手法の確立などの業務に従事し、健全な受信環境構築に貢献した。昭和63年、現在の(株)富士見テレビを設立し、テレビ受信に関する総合コンサルタント会社として地域の受信環境維持、向上に尽力した。また、平成11年発足した(社)日本CATV技術協会関東支部埼玉県地区連絡会会長として地域と連携し、デジタル化への協力も含め受信環境改善、向上に取り組んでいる。

<p>おとこざわ としひこ 男 澤 敏彦</p>	<p>元(株)NHK アイテック</p>	<p>昭和32年にNHKに入局以来、宮城、岩手、福島、東京において放送の受信障害改善業務に従事、昭和50年代からは、建造物によるテレビ受信障害の対策について、事前調査、障害予測、事前対策の実施を定着させて障害の未然防止活動に尽力された。NHK退職後は(株)NHKアイテック東北支社に勤務して、仙台市内に建設された高層建造物による大規模な遮蔽・反射障害の対策を担当して円滑な対策の実施を推進された。</p>
<p>むら しろう 武 良 司 郎</p>	<p>(財)廿日市市 文化スポーツ 振興事業団 はつかいち文 化ホールさく らぴあ館長</p>	<p>NHKに入局以来、テレビ・ラジオの放送受信環境の維持・改善に尽力された。NHK退職後も(株)NHKアイテック中国支社・支社長、(社)日本CATV技術協会中国支部長の要職を務め、関係業界の指導役として受信環境の維持・改善に貢献した。特に、受信環境クリーン協議会の幹事・委員を歴任し、NHK及び(株)NHKアイテック在職中の長年にわたって、電波障害防止の社会的認識を高めた功績は大きい。</p>

【団 体】

氏 名	実績の概要
<p>にしにほん こうそく どうろ かぶ ぼぜん 西日本高速道路(株) 保全 サービス事業本部 保全サー ビス事業部 施設グループ</p>	<p>高速道路管理業務に、全国で初めて道路施設電波測定車を開発し、平成22年6月1日に導入した。これは、車両内に各種電波測定装置と分析装置を搭載し、電波測定とデータ分析等が同時に実施できるものである。この電波測定車の導入により、従来の測定後データ分析を行うものに比べ非常に早く結果が得られ、電波受信状況の定量的把握と受信障害及び劣化の迅速な検出が可能となった。平成23年1月段階で、西日本高速道路(株)が管理する全高速道路を3回程度測定しており、トンネル内のAM・FMラジオ再放送設備の電界低下検出や管理用無線の電波の質の低下による外部電波環境への障害防止などに貢献できるものである。</p>
<p>まきはりしんとしん きょうぎかい 幕張新都心まちづくり協議会</p>	<p>幕張新都心建設時に迅速かつ的確な共同受信施設対策を実施するとともに、永年にわたり良好な共同受信施設の維持・運営により地域住民の良好な受信環境を確保した。地上デジタル放送への移行にあたっては、詳細な調査及びきめ細かな移行計画の立案・実行により、共同受信施設加入者の円滑な地上デジタル放送普及に大きく貢献した。</p>
<p>うらわ がくいんちゅうがっこう 浦和ルーテル学院中学校</p>	<p>10年以上の長きにわたり、「受信環境クリーン図案コンクール」に沢山の作品を応募され、関東受信環境クリーン協議会会長賞及び奨励賞を多数受賞するなど、優れた作品を応募されるとともに、美術の活動を通じて電波障害防止に関する知識の普及、周知、啓発に多大な貢献をされた。</p>
<p>きゅうしゅうでんりょく かぶ でんしつうしんぶ 九州電力(株) 電子通信部</p>	<p>九州電力(株)電子通信部は、大型送電線によるテレビ受信障害の発生メカニズムや因果関係などを調査研究し、対策方法を検討するために九州受信環境クリーン協議会(旧九州電波障害防止協議会)の下部組織として、昭和45年11月に発足した「超高压送電線専門部会」の事務局を務め、その中心的な役割を担ってきた。この功績は顕著であり、テレビの受信障害の未然防止と改善対策の推進に多大な貢献をした。</p>

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で53回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局
（財団法人電気通信振興会内） 関
（電話03-3940-3981）